

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立阪南中学校

令和 6 年 5 月

現状と課題

・全国学力・学習状況調査結果(全国平均比)

R1	国語	+2.2P	数学	+8.2P	英語	+8.0P
R2	実施中止					
R3	国語	+4.4P	数学	+6.8P		
R4	国語	+4P	数学	+8.6P		
R5	国語	+6.2P	数学	+4P	英語	+8.4P

・「学校の授業はわかりやすい」に肯定的な回答をする生徒の割合

R1	89.0%	R2	89.0%	R3	94.0%	R4	89.0%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

・1日当たりの学習時間

H29	2時間以上	54.8%	30分以下	15.5%
H30～	アンケート項目なし			
R3	2時間以上	53.1%	30分以下	9.1%
R4	2時間以上	49.6%	30分以下	13.1%
R5	2時間以上	51.1%	30分以下	15.3%

課題のある生徒はあるものの、家庭学習の習慣は概ね定着している。

現状に甘んじることなく、数学科における論理的思考能力や国語科における読解力・表現力等の向上を図るなど、習熟度レベルの上位層のさらなる伸長を旨とするとともに、下位層の底上げを図っていくことが課題である。

・「学校の規則を守っていますか」に肯定的な回答をする生徒の割合

R1	98.4%	R2	96.1%	R3	97.0%	R4	98%	R5	97%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に肯定的な回答をする生徒の割合

R1	93.9%	R2	95.0%	R3	96.0%	R4	96%	R5	97%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

「自分にはよいところがありますか」に肯定的な回答をする生徒の割合

R1	77.2%	R2	77.3%	R3	81.0%	R4	80%	R5	88%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答をする生徒の割合

R1	71.6%	R2	76.0%	R3	75.0%	R4	73%	R5	80%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-----	----	-----

・不登校生徒の在籍比

R1	4.3%	R2	6.5%	R3	8.1%	R4	6.9%	R5	7.2%
----	------	----	------	----	------	----	------	----	------

子どもサポートネットを定期に実施している。SC、SSW等と連携し、不登校生を減らす取組を推進している。

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点の結果(全国平均比)

男子	R1	39.26 (-2.43)	R3	42.08 (+0.90)	R4	39.37 (-1.67)	R5	44.56 (+3.24)
女子	R1	48.74 (-2.43)	R3	48.99 (+0.40)	R4	45.59 (-1.83)	R5	44.98 (+2.24)

*R2 実施中止

中期目標

【安全・安心な教育環境の実現】

○令和 7 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 100%にする。

R5 97%

○令和 7 年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を前年度より減少させる。

○令和 7 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

R1 在籍 752 人 不登校生徒 32 人 不登校生徒率 4.3%

R2 在籍 734 人 不登校生徒 48 人 不登校生徒率 6.5%

R3 在籍 715 人 不登校生徒 58 人 不登校生徒率 8.1%

R4 在籍 783 人 不登校生徒 54 人 不登校生徒率 6.9%

R5 在籍 809 人 不登校生徒 59 人 不登校生徒率 7.2%

○令和 7 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 95%以上にする。 R4 91% R5 96%

○令和 7 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 83%以上にする。 R4 80% R5 88%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 95%にする。 R4 87% R5 96%

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率を、すべてにおいて全国平均との差を +5.0pt 以上にする。 R5 国+6.2pt 数+4pt 英+8.4pt

○令和 7 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、令和 3 年度より向上させる。

○令和 7 年度の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 60%以上にする。 R5 63%

○令和 7 年度末の校内調査における「運動（体「思う」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。 R4 73% R5 79%

○規を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な正しい生活を身につけている生徒（全国学力・学習状況調査の①「朝食を毎日食べていますか」②「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」③「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合）を 90%以上にする

R5 ①90.5% ②74.9% ③87.9%

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 7 年度末の校内調査における「日々の学校生活の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を 100%にする。

○ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、冬季休業期間中は 1 日以上設定する。

○令和 7 年度末の校内調査における「読書に親しんでいますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%にする。 R4 70% R5 87%

○令和 7 年度末の校内調査における「学校は保護者からの悩みや相談に誠実に対応してくれますか」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 95%以上にする。

R4 93% R5 86%

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育環境の実現】

○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を100%にする。

○年度末の校内調査における「いじめや嫌がらせを、しない・させない・認めないようにしている」の項目について肯定的な回答をする生徒の割合を100%にする。

○年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

○年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を5%以下にする。

R1	在籍 752 人	不登校生徒 32 人	不登校生徒率 4.3%
R2	在籍 734 人	不登校生徒 48 人	不登校生徒率 6.5%
R3	在籍 715 人	不登校生徒 58 人	不登校生徒率 8.1%
R4	在籍 783 人	不登校生徒 54 人	不登校生徒率 6.9%
R5	在籍 809 人	不登校生徒 59 人	不登校生徒率 7.2%

○年度末の校内調査における「学校生活は楽しくて充実していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。 R4 91% R5 96%

○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を83%以上にする。 R4 80% R5 88%

○アフターコロナで不安定な状態が続く中、多くの生徒や保護者が不安からくるストレスを抱えていると考えられ、教育相談等のカウンセリングなどを通じての関わりに重きを置く。

○感染症のウイルスにより、学級閉鎖・学校休業などの集団感染（クラスター）源とならないように日頃からの安全衛生面で意識の高い学校づくりを強く推進する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を95%以上、かつ前年度より増加させる。 R5 96%

○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。

75 期生（現 3 年生）	R5	国語 7.6pt	数学 6.5pt
〃	R4	国語 6.2pt	数学 8.1pt
76 期生（現 2 年生）	R5	国語 5.4pt	数学 8.8pt
	R4	国語 5.8pt	数学 6.3pt

○大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を60%以上にする。 R5 63%

○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。 R5 79%

○規則正しい生活を身につけている生徒（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合）を90%以上にする。 R5 83.8%

- 年度末の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を前年度より増加させる。R4 87% R5 96%
- 全国体力・運動能力調査における体力合計点を昨年度より向上させる。R4 男子 39.37 女子 45.59 R5 男子 44.56 女子 44.98
- アフターコロナで不安定な状態が続く中、進路に向けた情報収集、提供を的確に生徒・保護者に行ない不安を解消することに全力を尽くす。
(授業日の設定、総合の時間の活用、阪南タイムの有効活用)
- アフターコロナの影響で、予定していた行事の時期や内容を変更する場合も、できる限り行事は実施する。
- 中学生の時期は精神面・体力面で著しい成長期でもあるので、P B Sを強く推進し、精神面はもちろん、体力面でも積極的肯定的支援をしていく。
- 年度末の校内調査における「健康について自己管理ができています」に対する肯定的な回答の割合を88%以上にする。R4 89% R5 93%

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%にする。(ただし、事務局が定める学校行事I C T活用が適さない日数を除く)
- 第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間の上限に関する基準2「1年間の時間外勤務時間が720時間を超えない(60h/月)」 「1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を1年間に6月まで」「1か月の時間外勤務時間が100時間を超えない」「連続する複数月(2か月、3か月、4か月、5か月、6か月)のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の1か月当たりの平均が80時間を超えない」を満たす教職員の割合を20%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間中は1日以上設定する。
- 年度末の校内調査における「読書に親しんでいますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。R4 70% R5 87%
- 年度末の校内調査における「学校は保護者からの悩みや相談に誠実に対応してくれますか」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。R4 93% R5 86%

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立阪南中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																				
<p>【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を100%にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめや嫌がらせを、しない・させない・許さないようにしている」の項目について肯定的な回答をする生徒の割合を100%にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を毎年前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を5%以下にする。</p> <table><tr><td>R1</td><td>在籍 752 人</td><td>不登校生徒 32 人</td><td>不登校生徒率 4.3%</td></tr><tr><td>R2</td><td>在籍 734 人</td><td>不登校生徒 48 人</td><td>不登校生徒率 6.5%</td></tr><tr><td>R3</td><td>在籍 715 人</td><td>不登校生徒 58 人</td><td>不登校生徒率 8.1%</td></tr><tr><td>R4</td><td>在籍 783 人</td><td>不登校生徒 54 人</td><td>不登校生徒率 6.9%</td></tr><tr><td>R5</td><td>在籍 809 人</td><td>不登校生徒 59 人</td><td>不登校生徒率 7.2%</td></tr></table> <p>○年度末の校内調査における「学校生活は楽しくて充実していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。</p> <p>R4 91% R5 96%</p> <p>○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を83%以上にする。</p> <p>R4 80% R5 88%</p> <p>○アフターコロナで不安定な状態が続く中、多くの生徒や保護者が不安からくるストレスを抱えていると考えられ、教育相談等のカウンセリングなどを通じての関わりに重きを置く。</p> <p>○感染症のウイルスにより、学級閉鎖・学校休業などの集団感染（クラスター）源とならないように日頃からの安全衛生面で意識の高い学校づくりを強く推進する。</p> <p>○保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について肯定的な回答をする保護者の割合を96%以上にする。 R4 95% R5 93%</p>	R1	在籍 752 人	不登校生徒 32 人	不登校生徒率 4.3%	R2	在籍 734 人	不登校生徒 48 人	不登校生徒率 6.5%	R3	在籍 715 人	不登校生徒 58 人	不登校生徒率 8.1%	R4	在籍 783 人	不登校生徒 54 人	不登校生徒率 6.9%	R5	在籍 809 人	不登校生徒 59 人	不登校生徒率 7.2%	
R1	在籍 752 人	不登校生徒 32 人	不登校生徒率 4.3%																		
R2	在籍 734 人	不登校生徒 48 人	不登校生徒率 6.5%																		
R3	在籍 715 人	不登校生徒 58 人	不登校生徒率 8.1%																		
R4	在籍 783 人	不登校生徒 54 人	不登校生徒率 6.9%																		
R5	在籍 809 人	不登校生徒 59 人	不登校生徒率 7.2%																		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を見る指標	進捗状況
<p>取組内容 1 【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>生徒に寄り添う指導を行い生徒理解に努め、家庭との連携・協力を進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期に 1 回、教育相談週間を設ける。 ・学期に 1 回、「いじめアンケート」を実施する。 ・生活指導代表者会議を週に 1 回実施し、情報の共有を図る。 	
<p>取組内容 2 【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校や虐待に関する生徒の状況を的確に把握し、SC・SSW 等と連携し、個々の生徒に応じた適切な支援を行う。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポートネットとの連携を築き有効なシステムにする。 ・スクリーニング会議にてきめ細かい情報交換を進める。 ・生徒理解・教育支援シートを 100%活用する。 ・月 1 回不登校対策委員会を開催し、情報の共有を図る。 ・生徒の家庭での様子を把握するために保護者アンケートを年 2 回実施する。 	
<p>取組内容 3 【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>教職員・生徒が一体となって衛生管理に努め、アレルギー対応や特に感染症流行期に適切な対応をとれるよう準備する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりや学校HPを通じて感染症流行時期前には学校と家庭の双方で特に日々の消毒や手洗い等の衛生管理を徹底する。 ・教職員全員でアレルギー対応について全員が少なくとも 1 度は実技研修を受けるように校内実践し、万一の際にも冷静に適切な対応がとれる組織を作る。 ・配膳員とも連携し、安全な学校給食を心がけ、個別食対応や生徒への衛生指導などを徹底し、異物混入事案を 0 にする。 	
<p>取組内容 4 【施策 2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳の時間を要として、教育活動全体で道徳教育を推進するとともに、生徒の心を育てる取り組みを進めるために、教員の指導力の向上を図り、教員研修を 2 回は実施し、指導方法の工夫・改善に取り組む。PBS の推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に 1 回、「振り返りシート」を用いて、生徒の様子を把握する。 ・道徳の授業研究を伴う校内研修を年に 2 回以上行う。 ・人権教育に関する取組を年間 3 回以上、実施する。 ・生徒の意識調査として生徒アンケートを年 2 回実施する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立阪南中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を95%にする。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。</p> <p style="padding-left: 40px;">75期生（現3年生） R5 国語 7.6pt 数学 6.5pt R4 国語 6.2pt 数学 8.1pt</p> <p style="padding-left: 40px;">76期生（現2年生） R5 国語 5.4pt 数学 8.8pt R4 国語 5.8pt 数学 6.3pt</p> <p>○年度大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を60%以上にする。 R5 63%</p> <p>○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。 R5 79%</p> <p>○規則正しい生活を身につけている生徒（全国学力・学習状況調査の①「朝食を毎日食べていますか」②「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」③「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合）を90%以上にする。 R5 ①90.5% ②74.9% ③87.9%</p> <p>○年度末の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を前年度より増加させる。 R4 87% R5 96%</p> <p>○全国体力・運動能力調査における体力合計点を昨年度より向上させる。 R4 男子 39.37% 女子 45.59% R5 男子 44.56 女子 44.98</p> <p>○アフターコロナで不安定な状態が続く中、進路に向けた情報収集、提供を的確に生徒・保護者に行ない不安を解消することに全力を尽くす。 （授業日の設定、総合の時間の活用、阪南タイムの有効活用）</p> <p>○予定していた行事を時期と内容を変更し、学校生活への影響を少なくするように精選する。</p> <p>○中学生の時期は精神面・体力面で著しい成長期でもあるので、部活動の活動停止期間がもたらすマイナス面が大きいととらえて、PBSを強く推進し、精神面はもちろん、体力面でも保健体育の授業を複数教員で対応し積極的肯定的支援をしていく。</p> <p>○年度末の校内調査における「健康について自己管理ができている」に対する肯定的な回答の割合を88%以上にする。 R4 89% R5 93%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を見る指標	進捗状況
<p>取組内容 1 【施策 4 誰一人取り残さない学力向上の取組】</p> <p>行事・時間割を精選し授業時数の確保を図る。その上で生徒保護者の学習面での不安やストレスを解消する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年生は可能な限り今年度中に履修範囲を補う。 ・ 3年生については進路指導の観点から常に新しい情報を学校HPや通信を活用して生徒・保護者に的確に提供して不安を払しょくする。アンケートで「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」の肯定的割合を90%以上にする。 R4 84% R5 93% 	
<p>取組内容 2 【施策 4 誰一人取り残さない学力向上の取組】</p> <p>各教科において生徒にわかりやすい授業をさらに研究・実践し、さらなる学力向上を目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末の生徒アンケートにおいて「学校の授業はわかりやすい」・「先生は教え方をいろいろ工夫している」に対する肯定的な回答を97%以上にする。 R4 90.5% R5 93% ・ 年度末の保護者アンケート「子どもは、学習内を理解している」の項目について肯定的な回答をする保護者の割合を78%以上にする。 R4 76% R5 70% 	
<p>取組内容 3 【施策 5 健やかな体の育成】</p> <p>生徒自らが課題を発見し思考しながら判断し表現できるようにする。また、継続して運動が行えるようにする</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策を取り入れながら年間計画をしっかりと立て、水泳の授業やグループ学習・行事等ができるようにする。 ・ 年度末の生徒アンケートにおいて「進んで運動をし、体力づくりをしている」に対する肯定的な回答を80%以上にする。 R4 73% R5 79% 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立阪南中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%にする。（ただし、事務局が定める学校行事ICT活用が適さない日数を除く）</p> <p>○1日1回、生徒が学習者用端末を活用するようにする。</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間の上限に関する基準2「1年間の時間外勤務時間が720時間を超えない（60h／月）」「1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を1年間に6月まで」「1か月の時間外勤務時間が100時間を超えない」「連続する複数月（2か月、3か月、4か月、5か月、6か月）のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の1か月当たりの平均が80時間を超えない」を満たす教職員の割合を20%以上にする。</p> <p>○教職員の働き方改革より、教員の時間外勤務時間が超過している教員の割合を減らす。</p> <p>○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。</p> <p>○ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間中は1日以上設定する。</p> <p>○年度末の校内調査における「読書に親しんでいますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。 R4 70% R5 87%</p> <p>○年度末の校内調査における「学校は保護者からの悩みや相談に誠実に対応してくれますか」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。 R4 93% R5 86%</p> <p>○心の天気、相談機能などを活用することで、生徒の心の状態や日々の状況を可視化し、いじめや不登校などの未然防止や早期発見など迅速な対応を行う。</p> <p>○年度末の校内調査における「読書に親しんでいますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。 R4 70% R5 87%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を見る指標	進捗状況
<p>取組内容1【施策6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組】</p> <p>一人一台端末の環境を生かし、デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用し子どもの可能性を引き出す学びの実現に向け取り組む</p>	

指標 ・ いいところ見つけ、心の天気、相談機能などを活用し、毎日学習者用端末を活用する	
取組内容 2 【施策 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくりの取組】 教職員の働き方改革により、時間外勤務時間を減らす。	
指標 ・ 教員の一人当たり平均時間外勤務時間を 40 時間以内にする。 R4 45 時間 12 分 R5 42 時間 21 分 ・ 1 か月の時間外勤務時間が 100 時間を超えないようにする。 ・ 部活動に関しては、大阪市部活指針にのっとり、週当たり 2 日以上以上の休養日を設け、時間外勤務時間を減らす。	
取組内容 3 【施策 8 生涯学習の支援の取組】 図書館司書、元気アップコーディネーターと協力し学校図書館の活性化をはかり、子どもたちが主体的に、より身近に本に親しむ習慣を身につけさせる。	
指標 ・ 学期中は、行事等がない限り図書館の開館を週 3 回は行う。 ・ 朝の読書週間日を年間 2 週間以上行う。	
取組内容 4 【施策 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の取組】 保護者との連絡を丁寧に行う。また、学校の情報公開を積極的に行い、防災訓練や薬物乱用防止教室など、地域の方が学校の諸活動にも積極的に参加できるようにする。	
指標 ・ 年度末の校内調査における「学校は保護者からの悩みや相談に誠実に対応してくれますか」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 95%以上にする。 R5 86% ・ ホームページの活用により、保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について肯定的な回答をする保護者の割合を 96%以上にする。 R4 95% R5 93%	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点